

檜山節考 (1958)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 98分

初公開日 1958/06/01

【解説】

深沢七郎の同名小説を木下恵介が脚色・監督し映画化。大量のセットを駆使し、舞台（演劇）のような世界観を構築している。1983年には今村昌平によってリメイクされ、同作はカンヌ国際映画祭でグランプリを受賞した。70歳になると人減らしのため檜山で姥捨を行う村があった。69歳になるおりんは、息子の辰平と孫たちを世話しながら、辰平の後妻を探していた。辰平は去年、妻に先立たれていたのだ。檜山祭りの日、辰平は隣の村から妻を迎えることができた。おりんは檜山へ行く準備を始めますが、自分の歯が立派であることを恥じ、石臼にぶつけて折ってしまう。そして正月の数日前に突然「明日山へ行く」と言い出すのだった。

【クレジット】

監督 木下恵介

製作 小梶正治

原作 深沢七郎

脚色 木下恵介

撮影 楠田浩之

美術 伊藤憲朔

出演	田中絹代	おりん
	高橋貞二	息子 辰平
	望月優子	妻 玉やん
	市川団子	けさ吉
	宮口精二	又やん
	伊藤雄之助	又やんの倅
	東野英治郎	玉やんの兄 飛脚
	三津田健	接客する客 照やん
	小笠原慶子	伊与吉の妻 松やん
	織田政雄	村人
	西村晃	村人
	鬼笑介	雨屋
	高木信夫	焼松
	小林十九二	村人
	末永功	村人
	本橋和子	村人
	五月女殊久	辰平の子
	服部勝幸	辰平の子
	吉田兵次	口上役